

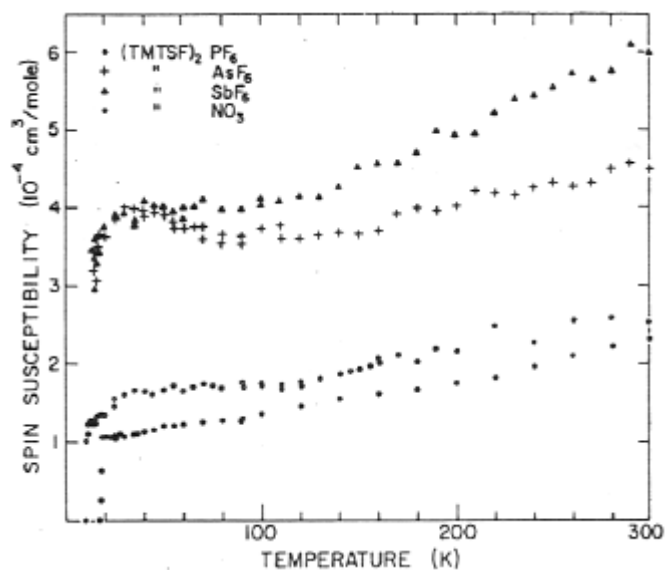
## 磁化率

ここに掲載した磁化率のデータは、本項目担当者の知識と、"Superconductivity Papers Database"(電総研と ISTEK による)を基にしてピックアップされた。編集方針は、

- 静磁化率と ESR 測定によるスピン磁化率を対象とする。
- ここで対象としている物質の磁化率は、どれもがパウリ常磁性程度の大きさしかなく、異なる物質の磁化率の絶対値を異なる著者 and/or 異なる手法によるデータで比較する際には特に注意を要する。よって、一つの物質について、複数のデータが存在する場合、同一著者及び同一手法によって系統的な測定がなされている方のデータを優先して掲載した。
- 単結晶による磁化率の異方性の測定など特徴あるデータも取り上げた。

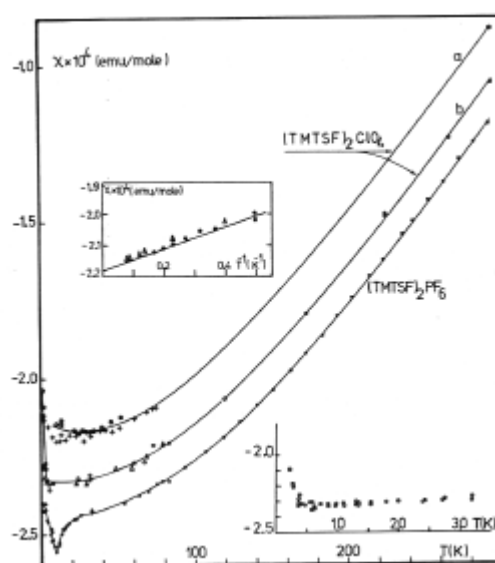
### [1] (TMTSF)<sub>2</sub>X

X = PF<sub>6</sub>, AsF<sub>6</sub>, SbF<sub>6</sub>, NO<sub>3</sub>



H. J. Pendersen *et al.* Phys. Rev. B **24**, 5014 (1981)

X = ClO<sub>4</sub>, PF<sub>6</sub>



M. Miljak *et al.*, J. Physique C **3**, 893 (1983)

左図コメント：1) ESR 測定によって得られたスピン磁化率

左図コメント：1) 静磁化率、2) コアの反磁性磁化率の補正なし、3) 3つのほぼ平行に並んだデータ点は、上のものが X = ClO<sub>4</sub>、下のものが X = PF<sub>6</sub> の徐冷配向試料の長軸に垂直な磁場中での磁化率、中間に位置するものが X = ClO<sub>4</sub> の急冷ランダム配向試料の磁化率。